

分類 2-1 インフラ基盤整備を通じた地域経済の充実

元気で活力のあるまちづくりに向けて、企業立地に関する支援や市街地整備、農業・畜産業の振興、道路や上下水道などのインフラの整備を行い、地域経済の活性化に取り組みます。

施策1 生活・都市基盤の整備

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	道路や上下水道などの都市インフラは、生活にとって非常に重要です。本町は比較的小規模ですが、相当規模のインフラが整備されており、長年の使用で老朽化が進んでいます。そのため、定期的な点検や修理が必要です。また、人口減少や人件費の上昇によって整備コストが増える中、計画的なインフラ整備が求められています。	幹線道路の整備を進める一方で、道路の老朽化に対しては日常的な点検や緊急修繕を行い、インフラを適切に維持管理します。さらに、上下水道の老朽化対策や防災対策を計画的に実施し、将来的に安定した運営を行うためにアセットマネジメントの計画を策定していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備事業 農道整備事業 橋梁・河川維持整備事業 上下水道の整備・保守・アセットマネジメント事業

施策2 土地の有効利用

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町は丘陵地帯が広がっており、事業や住居に適した土地が限られています。このため、町の自然環境と調和しつつ、土地を有効活用するために計画的な都市整備が重要です。	産業拠点として土地を活用するため、東名高速道路の秦野中井インターチェンジ周辺では、産業系市街地整備と大規模な農業基盤の整備を進めます。また、南部地区メガソーラー発電所の事業が終了した後の土地利用については、関係者と協議を引き続き行います。その他、既存の市街地を有効に活用するため、地籍調査を確実に進め、集約的な都市構造の構築を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画事業 地籍調査事業 インターチェンジ周辺土地利用推進事業

施策3 持続可能な農業の振興

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町の農業は多品種生産が特徴で、農業生産額は周辺の自治体と比べても高い状況です。しかし、農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加など、農業からの離脱が進んでいることが懸念されています。また、自然環境の変化による野生動物の被害も問題となっています。	自然環境の保全や地域農業の維持発展のためには、農業の担い手を育成し確保することが重要です。そのため、農業生産性の向上や後継者育成に関する支援を行います。さらに、地域の農業を支えるために、農地の集約や荒廃農地の再活用を進めます。 また、関係団体と連携し、町の農業を広めるための活動として、縁農観光として農業収穫体験や地元の直売所を利用した地場食材のPR、さらには地産地消を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興事業 農とみどりの整備事業 農道整備事業(再掲) 観光農園事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、限られた重要な水資源について理解を深め、地域の農業や畜産業の維持・発展のための地産地消などに取り組むことが望まれます。
- 事業者は、地域住民と共存しながら事業を進めることや、地域の農業・畜産業を継続・発展させるための計画的な事業継承を行い、将来を見据えた活動が望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	日常生活に必要な収入や資金が得られている	3.67	3.90
施策指標	道路や上下水道などの都市インフラ整備に取り組む	2.88	3.15
	地域経済の活性化のための土地の有効利用に取り組む	2.39	2.42
	地域の農業の活性化に取り組む	2.71	2.73

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町都市マスタープラン
- 中井町舗装維持管理計画
- 中井町橋りょう長寿命化修繕計画
- 中井町トンネル長寿命化修繕計画
- 中井町道路構造物維持管理計画
- 中井町農業振興地域整備計画
- 中井町地域計画
- 中井町水道事業ビジョン
- 中井町水道事業経営戦略
- 中井町下水道事業ビジョン
- 中井町上下水道耐震化計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

分類 2-2 地域産業の振興を通じた元気で活力あるまちづくり

元気で活気のある中井町とするために、地域企業等と連携を強化し地域産業の活性化に努めます。

また、地域資源を活用した観光振興を図り、地域の魅力づくりを推進します。

施策1 地域の活力となる商工業の振興

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町には「グリーンテクなかい」を中心に先端技術や物流関連の企業が多く存在し、昼間人口は夜間人口を大幅に上回っています。地域の雇用を維持し、町の税収を確保するために、企業誘致を継続することが重要です。一方で、地域の商店は減少傾向にあり、町の活気が失われているという課題もあります。	工業系用地の土地利用を計画的に進め、新しい産業施設を誘致して雇用の創出に努めます。また、地域企業等との連携を強化することにより、地域の賑わいを生み出す活動や、商業施設の誘致、空き店舗の活用を促進するための事業承継支援などを実施します。 また、地域商店の活性化を目指して、地域内での消費を促進するために地域通貨の利用を拡大し、地域産業を活性化させる取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工振興事業 ・ 中小企業振興事業 ・ 地域通貨事業 ・ 企業誘致事業

施策2 地域の魅力づくりと観光の振興

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	中井中央公園、巖島湿生公園及び震生湖は、豊かな自然環境と景観を持ち、本町の重要な観光資源となっています。様々なイベントを通じて、年間の交流人口は15万人を超えるまでに増加しています。このため、地域の魅力を内外に発信し、地域活性化に努めることが重要です。	中井中央公園、巖島湿生公園及び震生湖の自然環境を活用して、本町の魅力を感じられる体験やイベントを開催し、交流人口や関係人口の増加を目指します。また、町の魅力を広めるために、ふるさと納税の拡大や里都まちブランドの販路拡大の支援を行い、地域ブランド価値の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税推進事業 ・ 里都まちブランド事業 ・ 観光振興事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、地域の魅力を高めるための観光イベントの理解や、地元産のブランド品の地産地消、地域産業の維持・発展のために町内の商店を積極的に利用することが望めます。
- 事業者は、地域資源を活用した事業を実施し、町内での雇用を促進し、計画的な事業継承を行うことが望めます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	職場・学校は、自分のやりたいことや目標を実現できるところである	3.26	3.47
施策指標	新たなチャレンジが生まれ、元気で活力があるまちづくりに取り組む	2.61	2.65
	地域の魅力向上に向けて取り組む	2.92	2.98

出典：中井町民Well-Being意識調査

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (2)稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～
- (3)人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

分類 2-3 安心した暮らしを支える住環境の実現

誰もが安心して中井町で暮らすことができるよう、適切なおみ処理などによる生活環境の向上、住宅の耐震診断などの住環境整備に関する支援、防災拠点となる公園の適切な管理などに取り組みます。

施策1 生活環境の向上

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町では、町内の企業や住民が環境保全に取り組んでいますが、山林や農地、ごみステーションへの不法投棄が依然として問題になるなど、生活環境の悪化が懸念されています。また、本町は広域で効率的なごみ処理を行っていますが、環境負荷を減らし、持続可能なごみ処理システムを実現するためには、さらにごみの減量化が求められています。	清潔で快適な生活環境を維持するため、「なかいクリーンタウン運動」などを通じ、町民や事業者が協力して自主的な環境美化を支援しています。また、清掃ボランティアと連携し、不法投棄を未然に防ぐためのパトロールも実施します。持続可能な循環型社会を形成するため、広域連携による広域ごみ処理を推進することで、ごみ処理の持続可能性を高め、食品ロスの見直しやごみの減量化、再資源化の促進に向けた啓発活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境衛生事業 ・ じん芥処理事業 ・ 不法投棄対策事業 ・ 広域ごみ処理事業 ・ 狂犬病予防事業 ・ 火葬費補助事業
②	豊かな生活環境を作るためには、森林や里山などの自然を感じられる中井中央公園のような公園が重要です。これらの施設は適切に管理され、災害時の防災拠点としても機能する必要があります。	幅広い世代がスポーツやレクリエーションを楽しめ、自然環境と触れあうことのできるコミュニティ拠点として、中井中央公園や境グリーンテックパーク公園の適切な維持管理や環境保全を図り、地域に親しまれる公園づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中井中央公園管理事業 ・ 境グリーンテックパーク公園管理事業 ・ 児童公園管理事業

施策2 住環境の向上

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町の人口は1995年をピークに減少を続けており、この傾向が今後さらに加速する懸念があります。人口減少に伴い、老朽化した空き家が増えており、倒壊の危険性が高まっています。また、旧耐震基準で建築された住宅は、大規模な地震が起こった場合に大きな影響を受ける可能性があります。	築年数の古い住宅の耐震診断や耐震改修に対する支援を行い、安心して安全な住環境の確保を図ります。また、町営住宅の維持管理を行うことで、住宅に困窮する方々も安心して暮らせる環境を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅施策等推進事業 ・ 町営住宅管理事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、分別などによるごみの減量化やリサイクルに取り組むとともに、居住する住居の耐震性能の確認や必要な対策の実施などが望まれます。
- 事業者は、事業所から出るごみの減少化や再資源化の促進などを通じた、町の環境美化活動への積極的な協力の実施などが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	住まいは快適で、安全・安心であると感 じている	3.83	4.05
施策指標	まちなかや公園などを整備し、安心し た暮らしを送ることができるよう取り組 む	3.08	3.17
	安心した住環境の整備に取り組む	2.86	2.89

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町公共施設長寿命化計画
- 中井町環境基本計画
- 中井町緑の基本計画
- 中井町公園施設長寿命化計画
- 中井町耐震改修促進

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の
創生

分類 2-4 豊かな生活環境の基盤となる公共交通の充実

誰もが自由に行きたい場所へ行くことができ、やりたいことができる環境を確保するための、公共交通の充実を図り、町内を移動しやすい公共交通の充実、町外へ移動しやすく乗り継ぎやすい公共交通の構築、安心して公共交通を利用できる環境の整備を進め、住民の生活利便性を高めます。

施策1 公共交通の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町には鉄道駅がなく、主な公共交通手段は路線バスとオンデマンドバスです。しかし、利便性の問題から多くの方がマイカーを利用しており、バスの利用者が減少しています。これにより、路線バスの運行維持が難しくなり、減便や廃止の可能性が懸念されています。さらに、高齢化が進む中で自動車運転免許を返納する人も増えるため、移動手段の確保が新たな地域課題となる可能性があります。	路線バスを維持するためには、バスの利用者を増やす必要があります。 そのため、交通事業者や近隣の自治体と協力し、町民にバス利用を促進するための情報提供を行うとともに、交通結節点の機能強化を図り、乗り換えの利便性向上に取り組みます。 また、路線バスの補完としてオンデマンドバスのサービス向上に取り組むとともに、高齢者や障がいのある方を対象とした福祉有償運送サービスも踏まえ、移動環境の確保に努めます。	・ 生活交通対策事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、地域公共交通の維持のための路線バスの利用促進や自転車などの利用による環境に配慮したライフスタイルの転換などが望めます。
- 事業者は、町外居住の従業員に対するマイカー通勤から路線バスの利用への変更の促進などが望めます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	趣味や学びなど好きなことをしたり、 自分自身をケアするための時間を持つ ことができる	3.43	3.66
施策指標	生活環境の基盤となる公共交通の充 実に取り組む	1.95	2.25

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町地域公共交通計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (5)広域リージョン連携

分類 2-5 移住定住の促進による地域活力の維持・発展

将来にわたり活力あるまちを維持するため、選ばれる町となるための地域のプロモーションや空き家・空き地対策を実施し、移住・定住を促進します。

施策1 移住定住の促進

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	<p>本町では、少子高齢化や若年層の転出により人口減少が進んでいます。これに伴い、町の活気が失われる懸念があります。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの感染拡大がライフスタイルに大きな影響を与え、「オンライン化」が進んだ時代背景もあってか、本町では近年、転入者の数が転出者の数を上回る社会増の状況となっています。</p>	<p>移住希望者と空き地や空き家の所有者を結びつける「空き家バンク」を活用し、移住を促進します。また、シティプロモーションを通じて、本町の魅力をアピールし、選ばれる町を目指します。</p> <p>また、民間企業との連携を図り、既存市街地の有効な土地利用を図るとともに、U・I・Jターンを促進し地域の活力の維持・発展に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住促進事業 ・ 空き家・空き地対策事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、移住者が住みやすい地域環境の構築や空き地・空き家の有効活用が望まれます。
- 事業者は、就労機会の確保に向けた求人情報の発信や行政と連携した企業説明会の実施などによる町内移住促進への協力などが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	中井町は暮らしやすい生活環境である と感じている	3.20	3.37
施策指標	暮らしやすく、知人に勧めたい町とな るよう地域の発展に取り組む	2.78	2.82

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町空家等対策計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (3)人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～